

令和6年度「#あおばな in 百石高校」開催概要

県内の高校生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和6年9月2日（月）13：40～15：00

○場所：県立百石高等学校 第一体育館

○参加学生：全校生徒 256名

<生徒との意見交換>

代表生徒からの意見について知事と対話をしました。

- ①青森の食の魅力について
- ②若者の相談する場所の確保とスクールカウンセラーの配置について
- ③将来の働く場所や職の選択について
- ④地域交通の利便性の向上について

上記に係る意見交換の後、約30名の生徒が参加し、野球ボールを使ったゲームを実施して、対話の重要性について考えました。

※知事から生徒へのコメントの一部を紹介します。

- ・私たちが向かっていく先には、答えというものはない。自分たちで導いていくしかないが、その時に最も大切にしてほしいのは対話。
- ・一人で考えるだけでは、良い結果に結びつけることは難しいが、友達や先生、親からアドバイスをもらいながら、将来にわたって対話を積み重ねていく。主体的に対話に参加することで、きっと答えが見つかると思う。
- ・これから大きな壁にぶつかることもあると思うが、その時こそ、対話を通じて解決策を見出しながら、将来の夢に向かって頑張してほしい。

